

日本アジア投資株式会社
2026年3月期 期末
決算補足資料

決算発表日:2026年5月15日

1. 総括	P3
2. 当期の実績	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P7
4. トピックス	P12
5. 業績予想	P16
6. 参考情報	P18

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 当期実績

- ✓ 大型のプロジェクトの売却が実現せず、減収・赤字
- ✓ 上場株式の売却益を計上した一方で、未上場株式の売却は実現せず
- ✓ ファンドプラットフォーム事業の収益は安定的に拡大

2. 中計の進捗

- ✓ 投資開発事業(プロジェクト投資):
M&Aの効果で目標を大きく超える実績を達成
- ✓ 投資運用事業(株式投資):
大型ファンドの組成が実現せず見込から下振れ

3. トピックス

- ✓ 2025年11月～ 増資・新株予約権行使により資金を調達
- ✓ 2026年1月 KICホールディングスをM&Aにより取得*
- *その後2026年4月に追加取得して100%子会社化、傘下の子会社は、JAICアセットマネジメントに社名変更の後、パートナーが資本参加

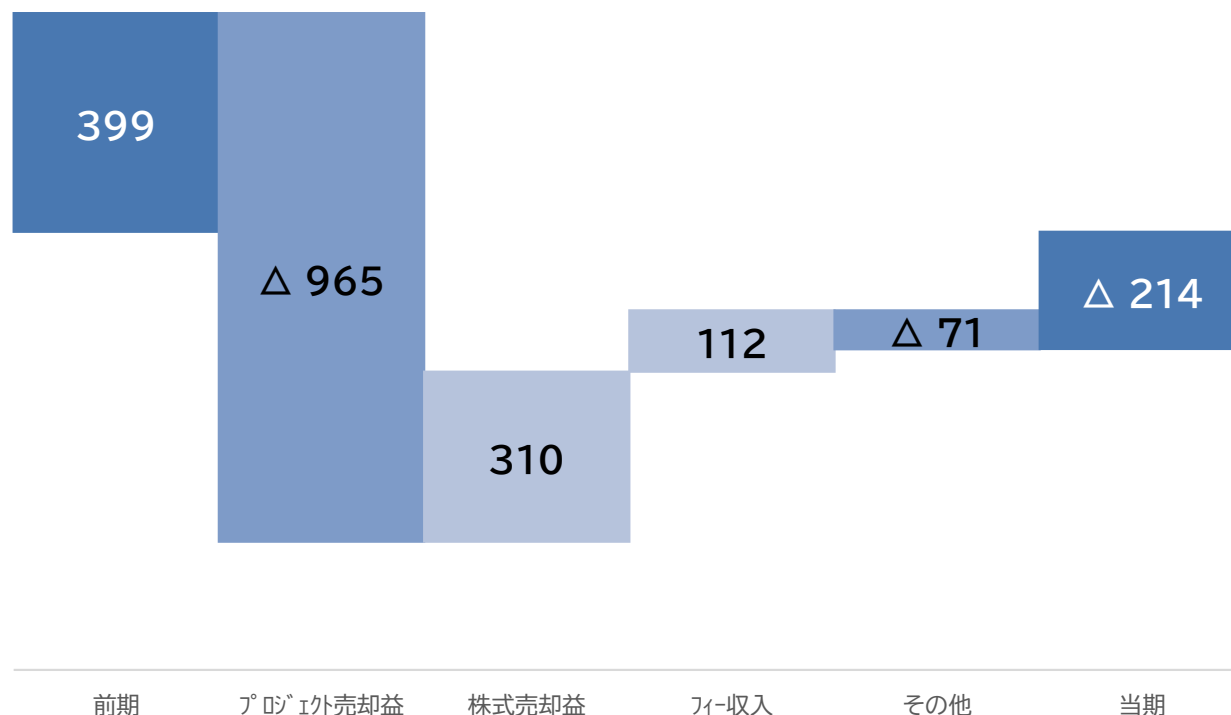
4. 業績見込

- ✓ 127.2%増収、3億円の黒字を見込む
- ✓ 株式売却益の増加を見込む、期ずれした未上場株式や今後投資する上場株式の売却を見込む
- ✓ パートナーとの協業により、JAICアセットマネジメントのフィー収入増加を見込む

2. 当期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減率
営業収益	2,150	↓ 1,320	△38.6%
営業原価	990	673	△31.9%
営業総利益	1,160	↓ 646	△44.3%
販管費	886	957	8.0%
営業利益	273	△310	-
経常利益	438	△378	-
親会社株主に帰属する当期純利益	399	↓ △214	-

親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因



✓ 減収・赤字要因:

- プロジェクトの売却: 利益を伴う大型の売却がなく、減収・赤字計上（前期は21件を売却）
- 株式の売却: 未上場株式の売却は延期となったが、上場株式の売却が寄与して売却益が増加
- フィー収入: ファンドの新設・増額や成功報酬の発生により増加
- 販管費: 外形標準課税の適用により税負担が1億円増加、役員報酬の削減等により増加額を8%に留める

2. 当期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2025年3月期末	2026年3月期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,693	10,704	0.1%	
うち 現預金	3,292	 2,738	△16.8%	回収+18、投融資実行△15、増資+7、返済△8、費用△6、その他△1
うち 投資開発事業 (引当後 プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	4,088	3,912	△4.3%	投融資実行+7、 分配・売却・回収△9
うち 投資運用事業 (引当後 プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	2,856	2,899	1.5%	投資実行+8、含み益+3、 投資有価証券へ振替△2 分配・売却・回収△8
うち 固定資産	244	 951	289.9%	のれん+6
借入金	3,495	 2,710	△22.5%	返済△8
自己資本	6,907	 7,463	8.0%	増資+7、利益△2

- ✓ 現預金 : 投資実行・借入金の返済により減少
- ✓ 投資資産: 投資実行と回収が均衡し、大きな変動なし
- ✓ 固定資産: M&Aでのれんが発生し増加
- ✓ 借入金 : 計画に基づき返済を実施
- ✓ 自己資本: 増資による増加が、損失による減少を補う

2. 当期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるCF	1,427	↓ $\Delta 129$
投資活動によるCF	24	↓ $\Delta 413$
財務活動によるCF	179	↓ $\Delta 71$
CF増減額	1,650	$\Delta 612$
期末残高	3,047	2,435

- ✓ 営業活動によるCF:損失の計上や投資実行により支出超過
- ✓ 投資活動によるCF:M&Aの実施や関係会社への出資により支出超過
- ✓ 財務活動によるCF:長期借入金の返済が増資や新株予約権の行使による調達額を上回ったため支出超過

3.中期経営計画の進捗状況

－資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 → 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて → 資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

- ① 安定収益の拡大 (フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着→資本コストの低減)
- ② 収益性の改善 (長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え→資産の回転率の改善&アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し→収益性の改善)
- ③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
- ④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

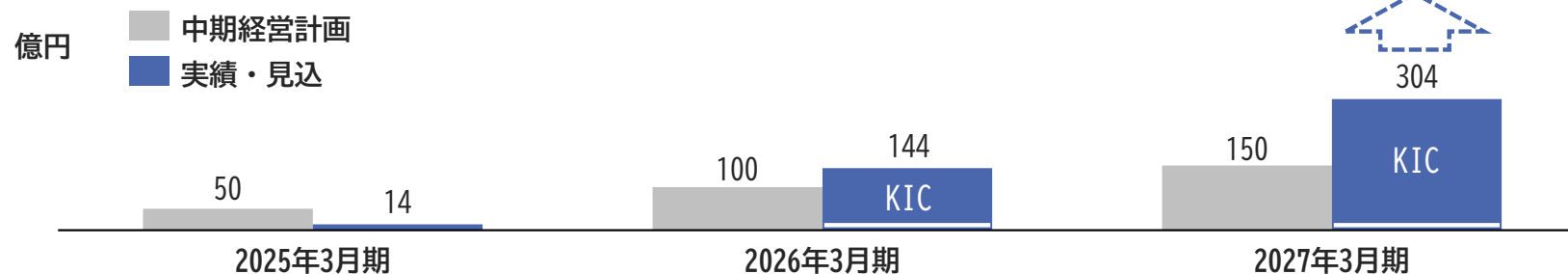
重要な目標指標(KGI)

	24/3月期	27/3月期	目指す姿
安定収益	2億円	8億円	10.8億円
ROE	赤字	12.7%	資本コスト 13.4%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	△16億円	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

3.中期経営計画の進捗状況－KPIの進捗状況

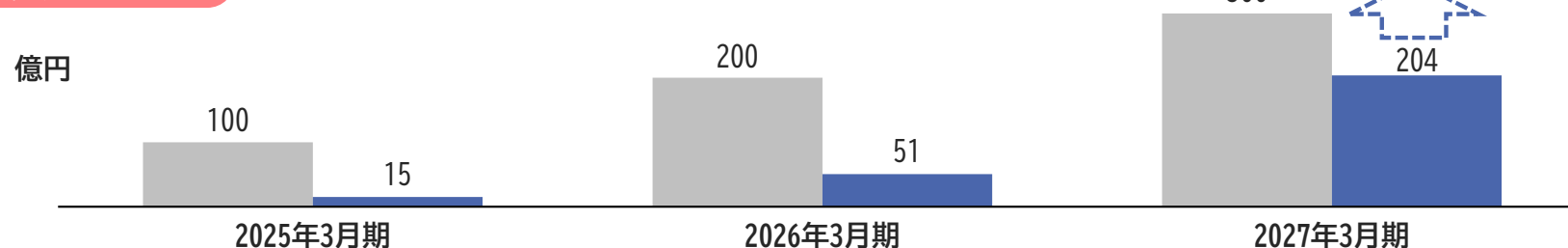
①投資開発事業 運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標

パートナーとの協業や多様な不動産の開発により、さらに増加見込み



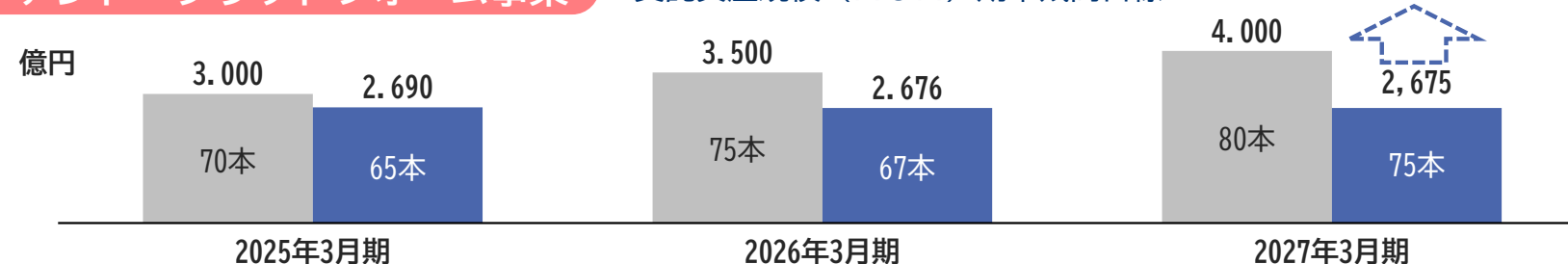
②投資運用事業 運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標

ライセンスを活用した募集で増加目指す



③ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模（AUA）期末残高目標

投資運用事業のAUMに伴い増加見込み



- ✓ 投資開発事業: M&Aの効果で大きく増加し目標達成、今後もパートナーとの協業などにより上振れの見込み
- ✓ 投資運用事業: 上場株式向けの大型ファンドが組成できず未達、今後はライセンスを活用して増加を目指す
- ✓ ファンド・プラットフォーム事業: 未達ながら採算性を向上、投資運用事業のAUMに伴い増加の可能性

3.中期経営計画の進捗状況－AUM増加額の内訳



ファンド名称	設立日	ファンド総額 (期中増加額)	ファンド総額 (期末残高)	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月		179百万円	当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	452百万円	612百万円 ※1	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月		830百万円	製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月	65百万円	465百万円	Web3(NFT 等)関連の国内上場企業
JAICクリプトアセット株式ファンド	2025年7月	2,480百万円	2,480百万円	クリプトアセット(暗号資産)関連企業
JAIC-DLE アニメ IP ファンド	2025年7月 ※2	201百万円	201百万円	主に、日本国内のアニメ IP やアニメ IP を利用したコンテンツを投資対象としたファンド
JAICスケールアップファンド	2025年6月 ※3	301百万円	301百万円	事業規模拡大(スケールアップ)を目指す国内上場企業
合計 ※4		3,499百万円	5,068百万円	

※1:2026年4月に214百万円増額して、現在は826百万円

※2:出資履行は2025年10月

※3:出資履行は2026年3月

※4:2025年10月に設立したONE-JAPAN 観光ファンドは、出資未履行のため上記表に含めていない。

- ✓ 新設ファンドから上場企業8社に投資実行
当社による業務提携を通じた事業支援、投資先企業同士の協業も拡大
- ✓ 当社自己資金からも2社への新株予約権投資
資金効率の高い投資手法による収益機会の確保



ブランディングテクノロジー(株)
(東証グロース:7067)



株式会社タカチホ
(東証スタンダード・名証メイン:8225)



株式会社イオレ
(東証グロース:2334)



nms ホールディングス(株)
(東証スタンダード:2162)



(株)W TOKYO
(東証グロース:9159)



(株)ディー・エル・イー
(東証スタンダード:3686)



(株)バストワンドットコム
(東証グロース:6577)



(株)井筒屋
(東証スタンダード・福証本則:8260)

当社との協業や投資先企業間での協業により企業価値を向上



ブランディングテクノロジー(株)
(東証グロース:7067)

JAICスペシャルティファンドに出資

国内のお土産・小売・観光業界の上場企業に投資するファンドに出資、
ファンドの投資先である(株)タカチホの新商品のプロモーションで協業



(株)ディー・エル・イー
(東証スタンダード:3686)

JAIC-DLE アニメ IP ファンドに出資

DLE社の日本国内のアニメ IP やアニメ IP を利用したコンテンツを
投資対象とするファンドに出資



株式会社タカチホ
(東証スタンダード・名証メイン:8225)

おみやげファンド 1 号に出資(2026年4月)

お土産業界のロールアップに特化したファンドへ出資、ファンドの投
資先企業とタカチホの協業により両者の企業価値向上を目指す



株式会社イオレ
(東証グロース:2334)

データセンタープロジェクトでの協業

当社関連会社のJAICデータダイナミクス(株)が運営する分散型AIデー
タセンターの事業設計・運用戦略で協業

4.トピックス－第三者割当増資について

2025年10月決議時 資金調達予定額 総額37.4億円^(※1)

普通株式		新株予約権(行使価額固定型)		新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達額	252百万円	調達予定額	994百万円 ^(※2)	調達予定額	2,507百万円 ^(※3)
株価	252円	行使価額	252円	行使価額	当初行使価額252円 ^(※4)
株式数	1,000千株	株式数	4,000千株	株式数	10,000千株
—	—	行使期間	2025/11/11~ 2027/11/10	行使期間	2025/11/11~ 2027/5/11

※1、2 調達予定額は、行使価額固定型新株予約権の全てが行使されると仮定した数値です

※1、3 調達予定額は、行使価額修正型新株予約権の全てが、当初行使価額で行使されると仮定した数値です

※4 行使価額が修正されるため、調達予定額は変動します

2026年3月末 資金調達実績 総額7.8億円

2025年11月払込完了

行使進捗率 0%

行使進捗率 27.2%

普通株式		新株予約権(行使価額固定型)		新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達額	252百万円	調達額	0百万円	調達額	527.7百万円
株価	252円	行使価額	252円	行使価額	平均 193円
発行株式数	1,000千株	発行株式数	-株	発行株式数	2,720千株
—	—	行使期間	2025/11/11~ 2027/11/10	行使期間	2025/11/11~ 2027/5/11

4.トピックス－第三者割当増資について

<本ファイナンスの目的・意義>

安定収益の拡大により黒字化を定着させるとともに、更なる企業価値向上に向けた取り組みを行います

◆ 連続的な成長に向けて → KPIの着実な達成とAUMの更なる拡大

中期経営計画・目標	重要な成果指標 (KPI)		重要な目標指標 (KGI)		
		2027/3月期		27/3月期	目指す姿
	投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円	安定収益	8億円	10.8億円
	投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円	ROE	12.7%	資本コスト 13.4%以上
	ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円	親会社株主に帰属 する当期純利益	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

更なる企業価値向上

◆ 非連続的な成長に向けて → 新たにM&A戦略への取り組みを実施
(M&A対象企業)

➤ 各種ライセンス保有企業
➤ 事業パイプライン保有企業 → 新たな事業機会と収益機会の創出

KICホールディングスの子会社化

- ✓ 物流施設やデータセンターの開発会社、アセットマネジメント会社を子会社化
- ✓ 2026年3月末時点で60%を取得後、2026年4月に追加取得により100%子会社
- ✓ 傘下のアセットマネジメント会社にて不動産以外のファンドの取り扱いを開始

名称	KIC ホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目19番
代表者	代表取締役社長 土田 匡人
事業内容	持株会社、不動産開発事業、プリンシパル投資事業
設立	2018年6月20日
株主構成	当社 100%(2026年4月末時点)
グループ会社	<p>JAICアセットマネジメント株式会社(2026年4月社名変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 保有ライセンス:金融商品取引業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業、投資運用業、不動産投資顧問業、宅地建物取引業 ✓ 不動産ファンドだけでなく、有価証券や金銭債権を投資対象とするファンドの取り扱いも開始予定

アセットマネジメント子会社にパートナーが参画

- ✓ 2026年5月、RSホールディングス(株)のグループ会社が、JAICアセットマネジメント(株)に40%資本参加
- ✓ RSグループの不動産開発の知見とJAICアセットマネジメントの不動産ファンド運営の知見を融合し事業拡大を目指す

パートナー企業概要

名称	RS Investment Management 株式会社
所在地	東京都港区六本木 6-3-1 六本木ヒルズクロスポイント 6 階
代表者	代表取締役 若林 要
事業内容	不動産に関するアレンジメント事業及び付随する関連業務
設立	2019年7月22日
株主構成	RSホールディングス株式会社 100%
RSグループ実績	グループ全体の運用資産総額(AUM)は約6,000億円

5. 業績予想－通期業績予想の詳細

(単位:百万円)	2026/3期 実績	2027/3期 通期見込	増減率
営業収益	1,320	3,000	127.2%
営業原価	673	1,080	60.3%
営業総利益	646	1,920	197.0%
販管費	957	1,570	64.0%
営業利益	△310	350	-
経常利益	△378	250	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△214	300	-

- ✓ 127.2%増収、3億円の黒字を見込む
- ✓ 株式売却益の大幅増加を見込む、未上場株式では前期から売却活動を続けている国内銘柄の売却を見込む、上場株式では、現在保有している銘柄だけでなく今後投資する銘柄の売却も見込む
- ✓ JAICアセットマネジメントでフィー収入の大幅増加を見込む、パートナーとの協業によりAUMが増加見込み
- ✓ ファンドの運営報酬も、AUMと共に着実に増加する見込み
- ✓ プロジェクトの売却は、一定程度の増加に留まる見込み
- ✓ 販管費は、子会社の増加、人員増強の計画、のれんの償却負担発生により増加見込み

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

投資活動の状況(事例紹介)	P19
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P20
プロジェクト投資 案件一覧	P21
営業収益・営業原価 内訳	P25
主要データの推移	P26
営業収益・営業原価 内訳推移	P27
事業領域	P28
JAICの強み	P29
サステナビリティへの取り組み	P30
会社概要	P31

2026年4月おみやげファンド1号を増額

- ✓ タカチホとの協業によるお土産品業界のロールアップに特化したファンド
- ✓ 当社100%子会社のおみやげカンパニーHDがファンドを運営
- ✓ 国内のおみやげ業界で一定の業歴やブランド力を有する反面、事業承継や事業成長に課題を抱える地域の中小中堅企業に投資を行い支援

ファンド概要

ファンド名称	おみやげファンド1号 投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区
ファンド設立	2026年3月 (2026年4月増額・出資履行)
出資者	日本アジア投資、タカチホ、おみやげカンパニーHD、他
ファンド総額	約8億円(出資完了後)
主な投資対象	お土産品業界のロールアップに特化したファンド

おみやげカンパニーHD概要

企業名	株式会社おみやげカンパニーHD
所在地	東京都千代田区
設立	2026年2月
代表者	代表取締役社長 安田 浩之
株主	日本アジア投資株式会社 100%
事業内容	・おみやげ関連の投資事業 ・グループ会社の経営管理/支援

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2026年3月末)



メガソーラープロジェクト

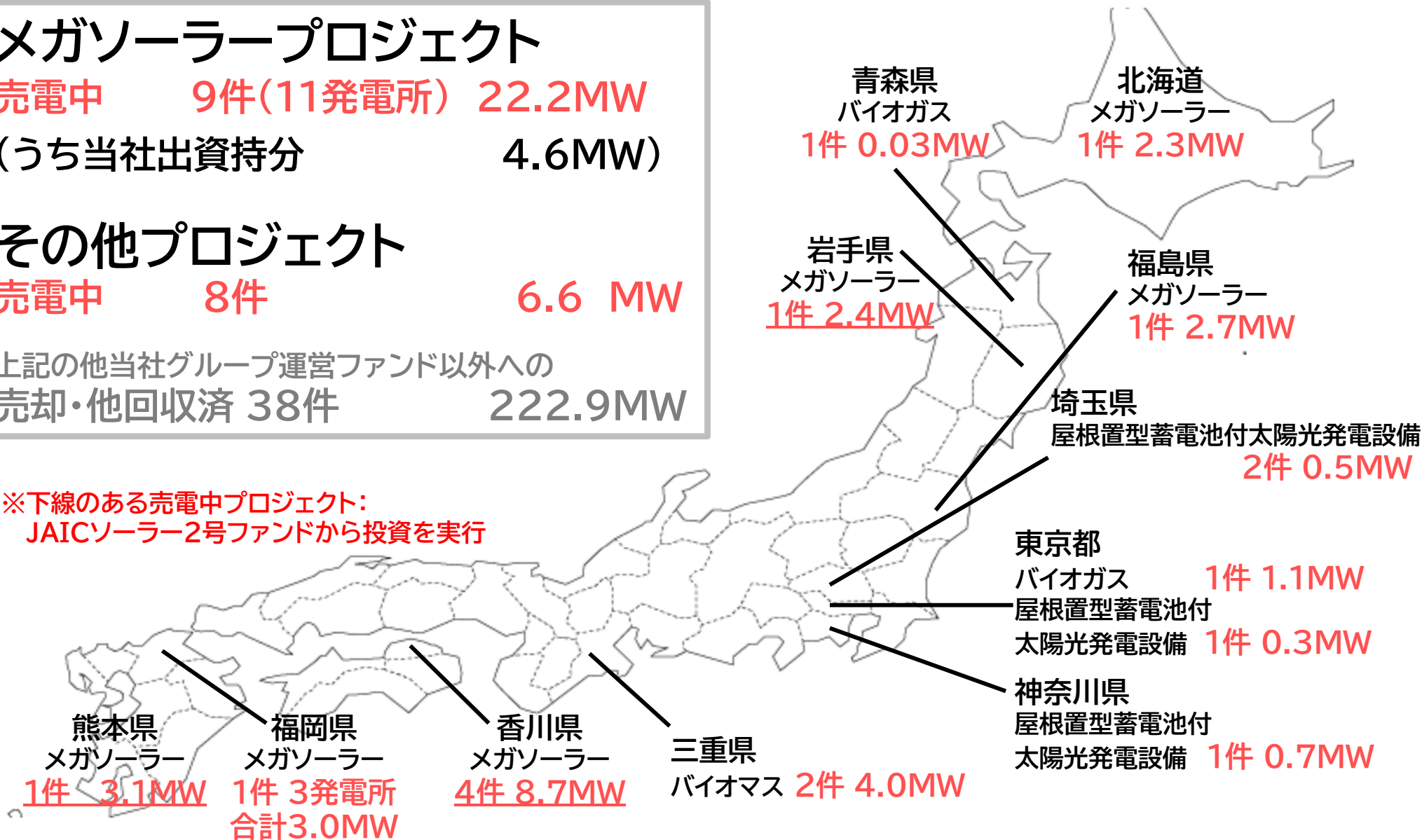
売電中 9件(11発電所) 22.2MW
 (うち当社出資持分 4.6MW)

その他プロジェクト

売電中 8件 6.6 MW

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
 売却・他回収済 38件 222.9MW

※下線のある売電中プロジェクト：
 JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2026年3月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
合計 22.2MW (うち当社出資持分 4.6 MW)					

※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2026年3月末)

プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	売電中(2025年3月売電開始)	—
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中(2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中(2018年11月売電開始)	39

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2026年3月末)



プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	1	福島県いわき市	入居者用20~21室、短期入所用2~3室	営業中(2023年8月営業開始)
	2	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	3	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中(2025年3月営業開始)
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	7	大分県大分市	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	8	福岡県直方市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	9	宮崎県宮崎市	同上	営業中(2025年9月営業開始)
	10	福岡県久留米市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	11	佐賀県小城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	12	長崎県大村市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中(2024年12月営業開始)
	14	宮崎県都城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	営業中(2026年2月営業開始)
	16	茨城県竜ヶ崎市	同上	営業中(2026年3月営業開始)
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営業中(2025年5月営業開始)
	18	熊本県上益城郡	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	19	福岡県中間市	同上	営業中(2025年10月営業開始)
	20	宮城県仙台市	同上	建設中
	21	福岡県糸島市	同上	営業中(2026年1月営業開始)

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2026年3月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	埼玉県春日部市	延床面積 18,158㎡、地上4階建	2025年2月竣工
	2	非公開	非公開	企画中

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	4	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

営業収益・営業原価 内訳



(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期
営業収益	2,150	1,320	1,603	↓ 71	388	↑ 1,077	158	↑ 170
管理運営報酬等	160	274	3	3	29	↑ 128	126	141
営業投資有価証券売却高	1,050	901	722	↓ 4	328	↑ 896	-	-
組合持分利益・インカムゲイン等	849	68	837	↓ 33	12	34	-	-
その他営業収益	89	76	39	28	18	18	31	29
営業原価	990	673	738	84	251	589	-	-
営業投資有価証券売却原価	719	466	513	↓ 2	205	463	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	127	158	88	53	39	105	-	-
組合持分損失等	124	33	118	13	6	20	-	-
その他営業原価	18	15	18	15	-	-	-	-
営業総利益	1,160	646	864	↓ Δ13	137	↑ 488	158	↑ 170

- ✓ 投資開発事業:減収・赤字:
 - ・営業収益(売却高、組合持分利益・インカムゲイン等):大型のプロジェクト売却益が無く減少
- ✓ 投資運用事業:増収・増益
 - ・営業収益(管理運営報酬等):新規に組成したファンドからの報酬が増加、成功報酬も発生
 - ・営業収益(売却高):上場株式の売却が進捗

主要データの推移

(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
業績						
営業収益	3,089	2,409	3,017	964	2,150	1,320
営業総利益	1,301	1,276	961	△427	1,160	646
販売費及び一般管理費	1,086	1,189	1,147	1,094	886	957
営業利益	214	86	△185	△1,522	273	△310
経常利益	173	61	△224	△1,569	438	△378
親会社株主に帰属する当期純利益	144	49	△269	△1,574	399	△214
財務状況						
現預金	3,699	2,740	2,464	1,750	3,292	2,738
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,583	6,781	6,053	5,248	4,088	3,912
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	4,267	4,812	4,083	3,003	2,856	2,899
借入金	6,950	5,943	5,142	4,314	3,495	2,710
自己資本	7,338	7,779	7,518	5,633	6,907	7,463
総資産	14,657	14,972	13,413	10,438	10,693	10,704

(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
ファンド設立・増加額	151	1,001	3,701	1,400	1,569	3,499
ファンド運用残高 ※	16,450	16,463	15,850	15,497	14,130	17,629
うち 当社グループ出資額 ※	5,434	4,953	3,389	2,428	1,707	2,308

※ 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

営業収益・営業原価 内訳推移



(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
投資開発事業(プロジェクト投資)						
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)	11	11	9	12	24	16
プロジェクト運用利益(組合持分利益・インカムゲイン等、その他営業収益)(b)	55	△15	20	29	25	△22
プロジェクト運用損失(組合持分損失等、その他営業原価)(c)	110	141	386	281	137	29
プロジェクト運用損益(b-c)	△54	△156	△366	△251	△111	△51
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(d)	1,351	1,150	887	272	1,552	77
売却原価(e)	587	509	90	262	513	2
評価損・引当(f)	-	-	75	-	88	53
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)	763	640	722	10	951	21
営業収益 小計(a+b+d)	1,418	1,145	917	314	1,603	71
営業原価 小計(c+e+f)	697	650	552	543	738	84
営業総利益 小計	720	495	365	△229	864	△13
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)						
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)	62	40	17	49	48	131
成功報酬(管理運営報酬等)(h)	-	-	-	10	-	15
売却高(営業投資有価証券売却高、組合持分利益・インカムゲイン等)(i)	1,469	1,078	1,943	442	340	930
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等)(j)	896	337	1,274	203	212	484
評価損・引当(k)	194	145	229	645	39	105
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)	378	595	439	△405	89	341
営業収益 小計(g+h+i)	1,532	1,119	1,960	502	388	1,077
営業原価 小計(j+k)	1,090	483	1,503	848	251	589
営業総利益 小計	441	636	457	△346	137	488
ファンド・プラットフォーム事業						
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)	138	144	139	147	158	170
総計						
営業収益	3,089	2,409	3,017	964	2,150	1,320
営業原価	1,788	1,133	2,056	1,392	990	673
営業総利益	1,301	1,276	961	△427	1,160	646



①投資開発事業

- ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・プラットフォーム事業
 ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス㈱が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- 国内外で3,600億円の累計投資実績
- プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2026年3月末現在)

会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC	
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	489百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)	
従業員数	単体22名/連結47名	
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業	
役員	代表取締役 社長執行役員CEO	丸山 俊
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司
	取締役 監査等委員長	橋 徳人
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	澁谷 功
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	丸山 千名美

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先: 経営管理グループ IR担当

ir@jaic-vc.co.jp